

■一般目標 (GIO)

コンポジットレジン前装冠を製作し、前歯部の補綴装置の製作工程および注意事項を理解する。特に、前歯部として重要な咬合接触（アンテリアガイダンス）の付与に注意し、犬歯部では犬歯誘導咬合により側方運動時、適正な臼歯部の離開を誘導するとともに、固有の形態および色調を再現する技法、技術を修得する。

■到達目標 (SBOs)

- ・反対側同名歯の形態を参考に審美性を考慮した歯冠形態の排列法および形成法を修得することができる。
- ・適切なアンテリアガイダンスの付与、犬歯誘導咬合により側方運動時、臼歯の適正な離開を誘導する舌側面の形態を再現する方法を修得することができる。
- ・審美性を考慮した窓あけの注意点を理解することができる。
- ・光重合型コンポジットレジン築盛の手順、築盛方法、重合操作、形態修正法、研磨時の注意点を修得することができる。

■教科書：最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：金曜日 18:50～21:15

■オフィスアワー：市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 月曜日 17:00～17:45

■成績評価：実習製作物を評価（100%）し、フィードバックを行う。

■注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。

■授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。

■準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：必要な時間（1時間程度）を充てて予習を行うこと。

■実務経験：市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに、本教科で学ぶ内容や理論、手技を補綴装置の製作にどう生かせるかを歯科技工士の立場から、わかりやすく丁寧に教えていく。

■関連教科：歯冠修復技工学（1年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 10月1日 市川 裕美 藤倉 亮 佐藤 翠	1. ⑬⑫⑪レジン前装冠 1) ダウエルピン植立 2) 台付け	<ul style="list-style-type: none"> ・前期実習の概要について理解することができる。 ・正確で操作性の良い歯型可撤式模型（ダウエルピンを使用した方法）の製作方法および取り扱いの注意点について理解することができる。 ・ダウエルピン植立の注意点を理解し、正確な歯型可撤式模型の製作方法を修得することができる。
第2回 10月15日 市川 裕美 他	1. ⑬⑫⑪レジン前装冠 4) ワックスパターン形成	<ul style="list-style-type: none"> ・反対側同名歯の形態を参考に審美性を考慮した歯冠形態の排列法および形成法を修得することができる。
第3回 10月22日 市川 裕美 他	1. ⑬⑫⑪レジン前装冠 4) ワックスパターン形成	<ul style="list-style-type: none"> ・適切なアンテリアガイダンスを付与するため、咬合器の前方制御部として、切歯路角を再現する目的と操作方法を修得することができる。 ・咬合器の前方制御部として、切歯路を再現

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		<p>する目的と操作方法を修得することができる。</p>
<p>第4回 10月29日 市川 裕美 他</p>	<p>1. ⑬⑫⑩レジン前装冠 6) ポンティック基底 7) 窓あけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポンティックの基底面形態の調整を理解することができる。 ・ 前装材料の性質を理解し、前歯部レジン前装金属冠の、審美性を考慮した窓あけの注意点を理解することができる。
<p>第5回 11月5日 市川 裕美 他</p>	<p>1. ⑬⑫⑩レジン前装冠 7) 連結</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適合性および接触点の正確な調整を考慮した、スプルーの植立を修得することができる。 ・ 前装冠で連結間としての連結部の形態と連結方法を理解することができる。
<p>第6回 11月12日 市川 裕美 他</p>	<p>1. ⑬⑫⑩レジン前装冠 11) 鑄造</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑄造の一連の操作について習熟することができる。
<p>第7回 11月19日 市川 裕美 他</p>	<p>1. ⑬⑫⑩レジン前装冠 13) 中研磨 14) メタル調整</p> <p>2. 臨床的模型実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連結部の形態や歯冠空隙などの細部に修正を加え、自浄性・清掃性が良く、滑沢な研磨面の得られる工程および技法を習得することができる。 ・ 付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作することができる。
<p>第8回 11月26日 市川 裕美 他</p>	<p>1. ⑬⑫⑩レジン前装冠 15) レジン前装</p> <p>2. 臨床的模型実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光重合型コンポジットレジン築盛の手順、築盛方法、重合操作、形態修正法、研磨時の注意点を修得することができる。 ・ 付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作することができる。
<p>第9回 12月3日 市川 裕美 他</p>	<p>1. ⑬⑫⑩レジン前装冠 15) レジン前装</p> <p>2. 臨床的模型実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光重合型コンポジットレジン築盛の手順、築盛方法、重合操作、形態修正法、研磨時の注意点を修得することができる。 ・ 付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作することができる。
<p>第10回 12月10日 市川 裕美 他</p>	<p>1. ⑬⑫⑩レジン前装冠 16) 形態修正 17) 研磨</p> <p>2. 臨床的模型実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連結部の形態や歯間空隙などの細部に修正を加え、自浄性・清掃性が良く、滑沢な研磨面の得られる工程および技法を修得することができる。 ・ 付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作することができる。
<p>第11回 12月17日 市川 裕美 他</p>	<p>1. ⑬⑫⑩レジン前装冠 17) 研磨</p> <p>2. 臨床的模型実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連結部の形態や歯間空隙などの細部に修正を加え、自浄性・清掃性が良く、滑沢な研磨面の得られる工程および技法を修得することができる。 ・ 付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作することができる。
<p>第12回 12月24日 市川 裕美</p>	<p>1. ⑬⑫⑩レジン前装冠 17) 研磨</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連結部の形態や歯間空隙などの細部に修正を加え、自浄性・清掃性が良く、滑沢な研

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
他	⑬12⑪レジン前装冠の提出 2. 臨床的模型実習	磨面の得られる工程および技法を修得することができる。 ・付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作することができる。
第13回1月14日 市川 裕美 他	3. 実技評価試験作業用模型の製作 1)ダウエルピン植立 2)台付け 2. 臨床的模型実習	・全技協実技評価試験の作業用模型を製作することができる。 ・正確で操作性の良い歯型可撤式模型（ダウエルピンを使用した方法）の製作方法および取り扱いの注意点について理解することができる。 ・ダウエルピン植立の注意点を理解し、正確な歯型可撤式模型の製作方法を修得することができる。 ・付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作することができる。
第14回1月21日 市川 裕美 他	3. 実技評価試験作業用模型の製作 3)咬合器装着 2. 臨床的模型実習	・全技協実技評価試験の作業用模型を製作することができる。 ・作業用模型を調整し、咬合器に装着する方法を修得することができる。 ・付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作することができる。
第15回1月28日 市川 裕美 他	3. 36 ワックスパターン形成 2. 臨床的模型実習	・歯列に調和した全部金属冠のワックスパターン形成を、制限時間内に製作する技術を修得することができる。 ・付属歯科病院と連携し、教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作することができる。